

長門商工会議所中小企業景況調査結果

(令和元年7～9月期状況、令和元年10～12月期見通し) 令和元年10月調査分

平成31年3月に認定を受けた「小規模事業者経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的発展のため経営実態やニーズ把握を重視し、個別事業所の経営状況分析の基礎データとして活用することを目的に地区内の事業者300社を対象に景況調査を実施しました。

I. 調査概要

- 1 調査方法 郵送、聞き取り
- 2 調査対象先 長門商工会議所管内の中小企業300社
- 3 有効回答企業の内訳 119社 回答率40%

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	計
回答数	14	13	10	31	51	119
対象事業所	28	29	16	65	162	300
回収率	50%	45%	63%	48%	31%	40%

II. 調査結果

特に好調	好調	まあまあ	不調	きわめて不調
(50以上)	(25以上50未満)	(0以上25未満)	(△25以上0未満)	(△25未満)

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し
売上										
DI値	14	7	△38	△23	△50	△40	△32	△66	△11	△13
仕入単価										
DI値	32	25	38	38	55	65	3	2	15	21
採算 (営業利益)										
DI値	7	△11	△27	△12	△40	△40	△35	△50	△17	△21
従業員										
DI値	△14	0	0	4	20	10	△13	△10	△10	△10
業況										
DI値	18	△4	△38	△19	△50	△30	△29	△56	△14	△16

※DI (DI各調査項目において「増加(好転)」と回答した企業割合から「減少(悪化)」と回答した企業割合を差し引いた値。

建設業	特に増加したのは受注(新規契約工事)額DI、材料仕入単価DIで、受注が増加したが、仕入れ単価も合わせて上昇している。また、従業員(含臨時・パート)DIは前期比、前年同期比ともに減少、人材不足がみられる。
製造業	特に増加したのは原材料仕入単価DIで、売上(加工)額DI・業況DIは当期・来期見通し共に低い。売上げが減少する中、仕入単価が上昇している事業者が多いことがわかる。
卸売業	特に増加したのは商品仕入単価DIで、現状、見通しを含め総じて高い傾向にあった。また、今期の売上額DI、業況DI、商品仕入数量DI、採算DIは総じて低い。
小売業	特に増加したのは商品仕入単価DIで、比較的高い数値であった。それ以外は全体的にマイナスとなったが、客数DI、売上高DI、採算DI、業況DIが特に低かった。
サービス業	特に増加したのは仕入単価(材料等)DIで、今後仕入単価の上昇を見込む事業者が多いことがわかる。また、利用客数の来期見通しが減少しており、来期の集客に不安を抱える事業者が多いことがわかる。これに伴い、利用客数DIほどではないものの、売上額DIも総じて低くなっている。

新規設備投資

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	29%	23%	20%	26%	25%
計画している	21%	23%	10%	10%	18%

経営上の問題点(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	熟練技術者の確保難	需要の停滞	需要の停滞	従業員の確保難	従業員の確保難
2位	材料価格の上昇 従業員の確保難	製品(加工)単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
3位		生産設備の不足・老朽化 従業員の確保難	販売単価の低下・上昇難 ほか	需要の停滞	特に問題なし

III. その他調査

働き方改革(建設、製造、卸のみ)

取り組んでいる(検討・予定も含む)	建設業	製造業	卸売業
	71%	69%	70%

取組内容(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業
1位	休暇取得の促進	休暇取得の促進	休暇取得の促進
2位	従業員の能力開発支援	勤務体系(時間)の多様化	勤務体系(時間)の多様化
3位	意識改革(管理者・従業員)	業務の効率化 意識改革(管理者・従業員)	意識改革(管理者・従業員) 従業員間の労働時間の平準化

不足している人材(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業
1位	現場で従事する人材	現場で従事する人材	不足していない
2位	営業	不足していない	営業
3位	不足していない その他	営業 将来経営を担う人材	将来経営を担う人材

充足できない理由(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業
1位	応募がない 定着しない 募集ノウハウの不足	応募がない	ミスマッチがある
2位		ミスマッチがある	募集ノウハウの不足
3位		その他(熟練技術者の退職など)	

キャッシュレス決済(小売、サービス業のみ)

レジ補助金を活用している	小売業	サービス業
	19%	16%

キャッシュレス決済を導入している	小売業	サービス業
	74%	43%

取り扱っているキャッシュレス決済の種類(複数回答あり)

	小売業	サービス業
1位	クレジットカード 78%	クレジットカード 77%
2位	QRコード	
3位	電子マネー 39%	電子マネー 41%

	小売業	サービス業
キャッシュレス決済の種類が増加した	70%	59%
キャッシュレス決済利用者が増加した	61%	59%
キャッシュレス決済の売上が増加した	48%	50%
ポイント還元に参加した・予定	65%	73%